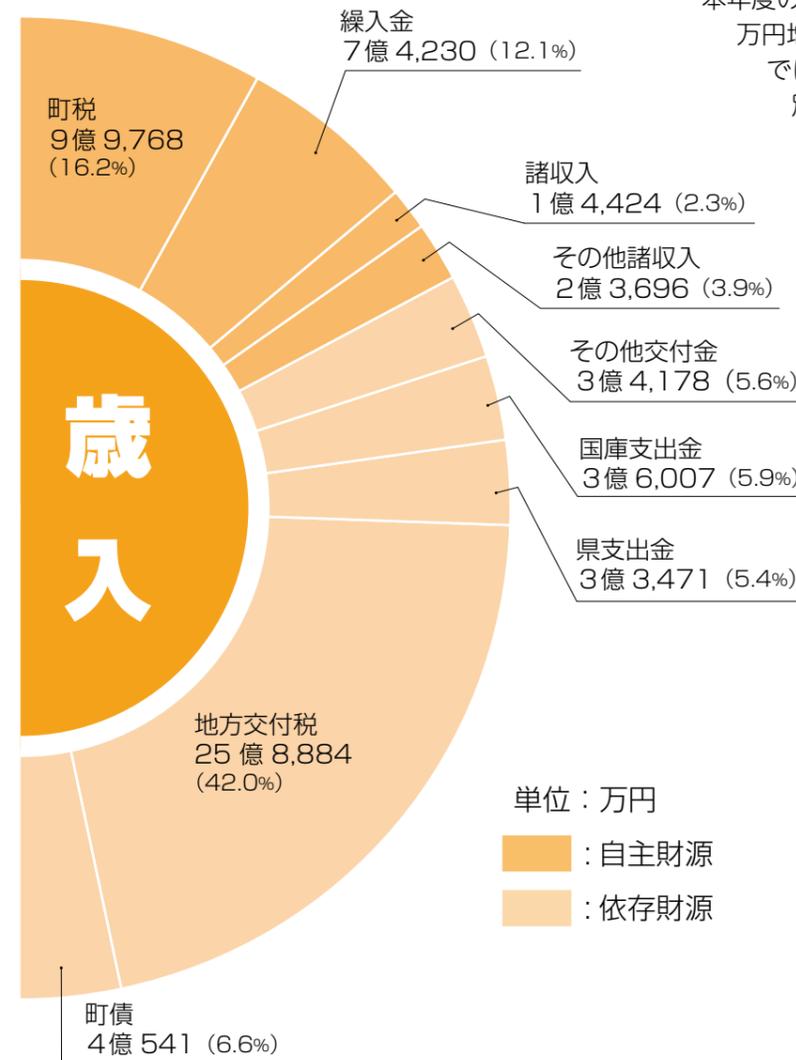


令和5年度一般会計当初予算額は

61億5,199万円

令和5年度予算が第1回町議会定例会で可決されました。本年度の一般会計当初予算は、前年度に比べ、3億8,202万円増の61億5,199万円です。

では、今年度の予算の使いみちについて、歳入歳出別にみてみましょう。
(予算額は、1万円未満を四捨五入しています。)



歳入

町債は1億3,121万円の増

町が自主的に収入を得ることができる財源のうち、町税収入（町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税）は前年度比1.0%増の9億9,768万円。また、特別会計や基金からの繰入金は

町が自主的に収入を得ることができる財源のうち、町税収入（町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税）は前年度比1.0%増の9億9,768万円。また、特別会計や基金からの繰入金は

財政調整基金からの繰入額の増などで前年度比11.8%増の7億4,230万円。ほかに繰越金や保育料などの分担金及び負担金などを加えた自主財源は、全体の34.5%にあたる21億2,118万円です。

一方、地方交付税、国・県支出金、町債などのように、その調達を国や県などに依存している依存財源は40億3,081万円と全体の65.5%を占めています。さまざまなたばこ税に使用される地方交付税は、前年度比6.0%増の25億8,884万円。一定の事業などに対し、国や県から補助金や負担金として支払われる国・県支出金は、前年度比2.1%減の6億9,478万円。町が行う事業や地方交付税の不足分などを補う財源として借りる町債は、前年度比47.9%増の4億5,411万円です。

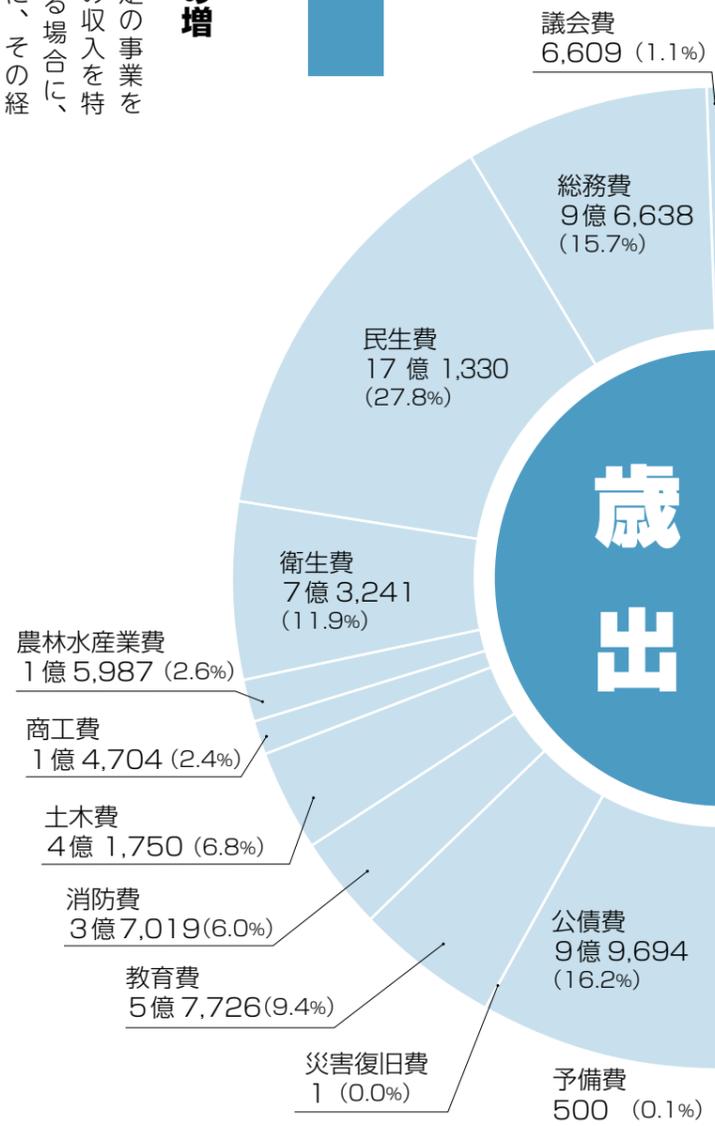
会計別の予算額

区分	予算額
総額	84億4,286万円
一般会計	61億5,199万円
特別会計	18億9,749万円
国民健康保険	12億9,588万円
後期高齢者医療	3億1,662万円
診療所事業	1億976万円
町営浄化槽整備推進事業	1億7,523万円
公営企業会計	3億9,338万円
水道事業	3億9,338万円

特別会計は6,619万円の増

特別会計は特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合に、一般会計とは別に、その経理を明らかにするために設けた会計です。

特別会計



歳出

教育費は1億506万円の増

一般会計歳出予算は、教員住宅解体事業などを控える教育費が前年度に比べ21.1%増の5億7,726万円、衛生費が7.2%増の7億3,241万円です。

◆**議会費**
町議会議員の議員報酬や

議会事務局職員の給与、議会映像インターネット配信に係る費用など

◆**総務費**

町長や総務課、企画調整課などの職員の給与や庁舎の管理、交通安全、防犯対策、選挙、町民バスの運行など

◆**民生費**

児童や高齢者、障がい者の方たちへの福祉事業や保育所の運営、特別会計への繰出金や福祉課職員の給与など

◆**衛生費**

ごみ処理やし尿処理などの環境に対する経費、病気を予防するための検診などの健康づくりに対する経費

◆**農林水産業費**

農業委員会委員への報酬、農道や林道の新設・修繕など農林水産業に対する経費

◆**商工費**

商工業や観光の振興、ウミガメ公園や飛雪の滝キャンプ場の管理など

◆**土木費**

道路の新設・維持、港湾や輪中堤、防潮水門の管理など

◆**消防費**

消防団活動や熊野市に委託している広域消防の分担金、防災対策事業への経費など

◆**教育費**

幼稚園や小学校、中学校の運営や教育施設の管理・運営、教育委員会職員の給与、文化活動やスポーツの振興など

◆**公債費**

事業を進めるため、借り入れた町債を返済する経費